



**2020年度第1四半期の検査結果報告 機構検査部
健全化推進機構 大野春光理事インタビュー**

機 構 の 動 き

7月度<2020年7月1日～7月31日>

遊技機等への立入検査関係

- 7月度 立入検査店舗数206店舗
(遊技機検査178店舗、計数機検査28店舗)
7月末日 誓約書提出店舗数9354店舗(対前月比▲50)

依存防止対策調査の関係

- 7月度 依存防止対策調査実施店舗数202店舗
7月末日 承諾書提出店舗数8550店舗(対前月比+234)

会議開催関係

- 7月6日(月)に定例理事会を開催した。
第1四半期の遊技機検査、計数機検査の結果、また第1四半期の依存防止対策調査の結果等について協議を行った。

CONTENTS

9 September
2020

遊技産業健全化推進機構 大野春光理事インタビュー	1
保安課長の行政講話を分析する 三堀 清	5
2020年度第1四半期の検査結果報告 機構検査部	8
店長に求められる知識「計数管理VI」	10
KiKoNEWS	13



静岡県島田市・島田髷(まげ)まつり

揃いの浴衣に島田髷を結びあげた約70人の娘さんたちが、島田市内を手踊りしながら練り歩く。日本髪(和装)の島田髷を考案したとされる駿河三大美人の一人、虎御前をしのぶ「島田髷まつり」だ。高島田のルーツとされる島田髷には、乙女島田、つぶし島田など多岐にわたる髪型があり、娘さんたちは変化に富んだ髪型を披露する。1933年に開始され、道中の後、虎御前の菩提寺「鶴田寺」で髪供養感謝祭が行われる。90年代までは、髷(かつら)の娘さんが多かったが、今では大半が地毛で島田髷を結うようになった。例年9月第3日曜日に開催する(今年はコロナまん延防止のため中止)。

遊技産業健全化推進機構の理事を2012年7月から務めてきた大野春光氏が今年11月で退任することになった。そこで大野理事に、機構理事としての8年間を振り返りながら、全日本遊技事業協同組合連合会副理事長として携わってきた依存問題対策や、新型コロナウイルス問題におけるパチンコバッシングなど、業界が直面する問題に対する意見やパチンコへの思いを語ってもらった。

理事8年で実感した 機構と医者との共通点



interview 大野春光 理事

一般社団法人遊技産業健全化推進機構

インタビュー撮影・安西英一

全日執行部は6月に退任 その晩知った責任の重さ

——少し早いですが、8年間、お疲れさまでした。

大野 ありがとうございます。全日遊連では代々、副理事長が健全化推進機構の理事を務めさせていたのですが、その副理事長を今年6月の全日遊連の総会で退任したので、機構にも理事退任届を提出した次第です。

——そもそも全日遊連の副理事長はなぜ退任したのですか？

大野 同じ人間が同じ職務を長くやりすぎると、組織が硬直化しがちです。したがって、少なくとも全国団体の執行部は「血」の入れ替えを適宜したほうがいいんです。ただ、阿部恭久理事長はリーダーとしての能力が抜きんでています。そこで副理事長のなかでは4期8年と最古参の自分が退任することにしたのです。

——緊急事態宣言下の休業要請問題に関して岐阜県遊協理事長として出した文書が注目を集めたこともあり、残念に思う業界関係者は多かったと思います。

大野 4月27日付と5月15日付の文書ですね。評判が良かったとい

っても、あれが限界。これ以上長く副理事長を務めてもぼろが出るだけだと思い、阿部理事長に退任を了承していただきました。総会の夜は寂しく感じるかと思ったらそうはならず、ベッドに横になったら、背が伸びたのではないかと感じるぐらい体全体がすっきりしました。重すぎる荷物を背負っていると、その重さは荷物を下ろして初めて実感できるのだということがわかりました。

依存問題対策では 父娘で活躍

——全日遊連では依存問題対策の担当副理事長でした。

大野 私が依存担当に指名されたのは2017年1月。最初は阿部理事長と二人で永田町めぐりをしました。当時は厚生労働省が14年に発表した「ギャンブル依存症の疑いのある人は536万人」という数字が独走していたので、決してそうではないことを訴えなければいけないと思います、リカバリーサポート・ネットワーク(RSN)の

慶應志木高校2年生の夏、ハワイに留学していたときの写真。
左後方に写っているのは当時、慶應義塾高校2年生だったトヨタ自動車の豊田章男社長。
いまでも「章男」「春光」とファーストネームで呼び合う仲だという



約10年間の実績をまとめた資料と日工組社会安全研究財団の調査資料などを携えて、永田町行脚をしたのです。僕は岐阜選出の野田聖子衆議院議員と若い頃からの付き合いなので、彼女の紹介で与党系の大物議員や依存問題に理解のある議員を訪ねました。

——ロビー活動ですね。

大野 並行して、全日遊連内に依存対策のプロジェクトチームを立ち上げ、業界内では他団体と連携し、RSNの代表理事である西村直之先生の指導を仰ぎながらさらなる依存問題対策を進めていったわけです。西村先生のほかにも日

工組社安研で遊技障害の研究に關わっているお茶の水女子大学基幹研究院の坂元章教授、公立諏訪東京理科大学の篠原菊紀教授など、業界に理解のある専門家の方々のアドバイスを受けられる状況にあったのは大きなメリットでした。

——アメリカのラスベガスの依存対策も視察されましたよね。

大野 阿部理事長に同行し、IR関係者や問題を抱えたギャンブラーをケアする人たちなどと情報交換しました。すると、彼らのギャンブル依存の認識は行動障害であって病気ではないというものでした。8割まではアルコール依存や

薬物依存と同じプロセスで、治療も同じプロセスでいいのだが、残り2割がどうも違うという。混同してはいけないことが確認できたのは収穫で

した。業界の対策は正しいと言ってもらえたことも自信になりました。

——ちなみに依存問題対策では、大野さんのお嬢さん(長良川ボウリングセンターの大野真希専務取締役)も活躍されてきました。

大野 娘はRSNでの体験談をベ이스に、依存問題対策に関する講演を業界団体や都府県方面遊協などでしてきました。21世紀会では沖縄にあるRSNにホール従業員を3か月間出向させる制度を17年5月に立ち上げたのですが、当初は認知度がありません。そこで娘を出向させたのです。それで、戻ってきた娘から体験談とか学んだことを聞いていると、実のためになる。これは業界全体に広めていく話だと思い、依頼があれば広報に協力するよう指示しました。

現在、娘たちRSNの出向経験者にはオンライン会議を通じて、安心パチンコ・パチスロアドバイザーのレベルアップに資する施策のアイデアなどを提案してもらっています。こういう人の育て方もあるのだということを学びました。

機構との奇妙な縁 最初の2年間は針の筵

——健全化推進機構も今年からホールの依存問題対策の巡回調査を始めました。大野さんは機構の理事としても依存問題対策に関わることになったわけですね。

大野 私は機構と妙な縁があるんです。私が岐阜県遊協理事長に選任され、全日遊連の理事となったのは2008年。それから半年後ぐらいに持ち回りで全日理事会の議長補佐を務めることになったのですが、そのときの議題が機構の分担金の引き上げ問題だったので。理事会には緊張感が漂っていました。でも、私は青年会議所でロバート議事法という合理的な議事進行方法を学んでいたので、混乱することなく採決に導くことができました。他の理事から感心されましたね。それが実質的な全日デビューとなりました。

——当時は機構の理事になるとは思わなかったでしょうね。

大野 もちろんです。機構の理事になったのは2012年7月でしたが、デビューの理事会は何が何

だかわからないうちに終わりました。

私の席は故・河上和雄代表理事の真正面で、テレビでしか見たことがない人が正面にいて委縮してしまっていますね。専務の伏見(勝)さんは恐ろしい顔で睨むし、日本遊技関連事業協会副会長で論客として知られる大久保(正博)理事は噂通りの論客だし、会議のつど針の筵で、2年目ぐらいまでは小さな声でしか発言できませんでした。

——それから8年。健全化推進機構の立入検査で不正はほぼ発見されなくなりました。

大野 こうなってくると注意しなければいけないのは、「もう機構はいらないだろう」という人が出てくることです。でも、私は、機構は医者に似ていると思うのです。医学とは突き詰めると病人をなく



お嬢さんの真希さんが沖縄のRSNIに向向していたとき、現地を訪れての2ショット

すことです。から、医者は自分たちの仕事をなくすのが仕事であるともいえます。だけど、病人がこの世からいなくなっても、おそらく医者という仕事はなくならないでしょう。

機構も業界から完全に不正を排除できたら、今度はその状態が維持されるよう努力を続けていくことが役割なのだと思います。それに私は先輩理事長がかつて口にし

た「たとえ不正機を使っているホールがいても、仲間を売ることはできない」が忘れられません。機構のいない業界はあり得ないというのを声を大にして言いたいですね。

先行きが読めない コロナ問題の怖さ

——業界全体の展望は？

大野 個人的には、もつとしんどい時代もありました。私は大学卒業後、博報堂に就職し、父の体調不良に伴い、岐阜に戻ったのが20代半ば。博報堂では故・岡本太郎氏の「グラスの底に顔があってもいいじゃないか」の名セリフで話題となったウイスキーのテレビCMを任されるなど、やりがいのある仕事をしていました。ところが戻ってみたら、私は責任ある仕事を任せてもらえません。そんな状況が10年ほど続きました。昔ながらの経営手法でフィーバーブーム時代の儲けを吐き出す一方なのに、私の意見には耳を傾けてもらえない。つらい毎日でした。

ただ、今回のコロナ問題には、社会全体の先行きがまったく読め

ないという点でかつてない怖さを感じます。まして、すでにコロナ問題の発生以前に業界は完全な過当競争時代に入っていましたから。単店経営の当社もアフターコロナがなかなかイメージできません。そういう人間が全国団体でトップを補佐する立場にはいけないという思いも、実は私が全日遊連の副理事長退任を決断した理由の一つでした。

休業要請をめぐる 二つの文書に込めた思い

——コロナ問題に関しては、休業要請に従わないホールがいたことから業界が批判されました。

大野 パチンコ店が休業要請の対象になったことやバッシングに対しては、私はいまでも納得していません。あの時点でパチンコ店のクラスター認定はなく、その状況は8月上旬を迎えてもなお変わらないわけですから。そういう事実は無視されて、科学的根拠もないまま、パチンコ店は三密で危険だとしてスケープゴートにされたことにはすごく腹が立ちます。緊急事態宣言前ならば反論して良かった



プロフィール ● 大野春光（おおのはるみつ）

1957年、岐阜県岐阜市出身。1979年、慶應義塾大学経済学部卒。
 (株)博報堂に約2年間勤務した後、(株)長良川ボウリングセンターに入社。
 現在、同社代表取締役。仏壇・仏具専門店「お仏壇の春堂」を経営する
 (株)大野春堂の代表取締役でもある。組合・団体活動では2008年、
 岐阜県遊協理事長に就任（現在7期目）。12～20年、全日遊連副理
 事長。12年7月より遊技産業健全化推進機構の理事も務める。

たと思います。

しかし、政府が緊急事態宣言を
 発動し、それに基づき県から休業
 要請対象業種に指定されてしまっ
 た以上は納得できなくても従わな
 いといけません。それが大衆娯楽
 たる遊技産業のとるべき姿勢だと
 いうことです。

——話題となった岐阜県遊協理事
 長としての文書にはそういう思い
 が込められていたのですね。

大野 まず、4月27日付の文書で

訴えたかったのは、政府の緊急事
 態宣言発動を受けてパチンコ店が
 都道府県の休業要請対象業種とな
 った時点で、我々の置かれている
 社会的状況が180度変わったと
 いうことです。いったん対象に指
 定されたら、どれだけパチンコ店
 は三密ではない、クラスター防止
 対策をしていると訴えても理解は
 得られません。

——それが「いまだ営業を続けて
 いるホールは自らが社会的加害者

である」などの強い表現につなが
 ったのです。5月15日付の文書
 では、休業要請に従わなかったホ
 ール経営者に今後100年間、業
 界について一切発言してほしくな
 いとも言っています。

大野 5月15日付の文書に込めた
 思いも基本は4月27日付の文書と
 一緒なんです。利益を優先して営
 業を続けた経営者、先走って営業
 再開した経営者の方々にも危機感
 を共有してほしかったという思い
 はいまも変わりません。

大事にしたい パチンコへのこだわり

——一方では、パチンコ店もセー
 フティネットの貸付対象業種、政
 府系金融機関、信用保証協会によ
 る融資・保証の対象業種とすること
 が決まりました。遊技機の経過措
 置期間も延長されました。

大野 公的支援、信用保証の問題
 は2011年の東日本大震災の
 きも、全日遊連では当時の民主党
 政権に陳情したんです。僕も総務
 委員として担当しましたが、関係
 省庁はけんもほろろでした。です
 が、今回は認められました。業界

が一つになってことにあたったか
 らです。経過措置期間の延長につ
 いても同様です。ホール、メーカ
 ー、販社の垣根を超えた一体感は
 依存問題対策を進めるなかで醸成
 されていったもので、コロナ禍の
 なかで数少ない評価すべきことで
 す。この流れをアフターコロナに
 向けた取組みでも生かしてほしい
 と思います。

——経営者としての抱負は？

大野 よくウチは仏壇・仏具専門店
 が先にありきだと誤解されるので
 すが、ホール経営が先。私はいわ
 ゆるパチンコ屋の息子として育ち
 ました。パチンコにはこだわりが
 あります。幸い仏壇・仏具専門店
 はきめ細かなマーケティング戦略が
 功を奏して、コロナ禍にもかかわ
 らず売り上げを伸ばしています。
 また、関連する新規事業も順調な
 滑り出しです。全日遊連の副理事
 長や健全化推進機構の理事の負担
 がなくなるぶん、自社の経営再建
 に注力していきたいと思っています。
 ——また、理事退任後も引き続い
 て助言、提言をいただければと思
 います。今日はどうもありがとうございました。

保安課長の 行政講話を分析する



三堀 清

みほり きよし

昭和32年 神奈川県生まれ

早稲田大学法学部卒

司法修習終了後

昭和63年 弁護士登録(第二東京弁護士会)し、大手企業の

法律問題を扱う法律事務所勤

務を経て

平成8年 早稲田大学大学院修

士課程終了

平成9年 三堀法律事務所開設

現在、パチンコホールを始め企

業関連の民事事件を手がける

1 異例の行政講話

令和2(2020)年6月18日、一般社団法人日本遊技関連事業協会(日遊協)の通常総会が開催された。日遊協の総会では、毎年、警察庁生活安全局保安課の課長が出席して講話を行うが、今回は新型コロナウイルスによる感染症拡大の影響で、書面配布という異例の形式であった。

また、今回の講話のテーマは、新型コロナウイルス感染症拡大に伴うホール業界の在り方に影響する出来事(その内容は、ホール営業が信用保証協会の保証対象となったこと、国家公安委員会規則の改正による旧規則機の撤去期間の延長及び各都道府県知事からの休業要請への対応についてである)と依存問題(その内容は、各種要綱及びガイドライン等に基づく対策への取組み、射

幸性の抑制、啓発等、自己申告・家族申告プログラム及びATM等の撤去についてである)という二つに絞り込まれた点でも異例であった。

現任の小堀龍一郎課長は、1月17日に開催された全日本遊技事業協同組合連合会全国理事会においても講話を行ったが、そのテーマは、依存防止対策、射幸性の抑制に向けた取組み、不正改造事犯等の絶無、遊技機の流通業務の健全化、賞品に関する問題、そして広告・宣伝の健全化という六つにわたるもので、前任者の講話の延長線上にあるものだった。この1月の講話と比較すると、今回の講話が異例なものであることが際立つのである。

2

クラスターが

発生しなかったとの認識

今回の講話は、冒頭、パチンコ・パチスロ産業21世紀会(21世紀会)の「パチンコ・パチスロ店営業における新型コロナウイルス感染症の拡大予防ガイドライン」に言及し、「これまでばちんこ店では、クラスターが発生したという事実は聞いていませんが、万が一にでもそのような事態にならないよう」、客同士の距離の確保・ビニールシート等による遮蔽、必要に応じた県外居住者の入場規制、混雑緩和のための稼働台数制限等、「ガイドラインに沿って、あるいはそれ以上の工夫をして、お客と従業員：の健康・命を守っていただきたいと思っています」としている。

各都道府県知事がマスコミを通じてホールでクラスターが発生したかのような見解を流したり、東京都医師会にあってはホールでクラスターが発生したとする記者会見での発言があったり

したが（後に謝罪し、撤回した）、担当者である保安課長が「クラスターが発生したという事実は聞いていません」と明言したことは、監督官庁である警察庁がマスコミの報道や世論に影響されることなく、フェアな姿勢でホール業界に臨んでいることを物語る。

3

信用保証協会の

保証対象となったこと について

今回の講話では、新型コロナウイルス

ス感染症拡大に伴うホール業界の在り方に影響する出来事というテーマの第一として、「ぱちんこ営業が信用保証協会の保証の対象、政府系金融機関の支援の対象」となったことを挙げている。そして、「これが認められたのは、単に新型コロナウイルス感染症の対応のためというわけではなく、「ぱちんこ営業の射幸性が風営法でしっかりコントロールされていること、とりわけ先般の規則改正により射幸性が抑制されたことが、担当省庁である中小企業庁等から理解が得られたから」である、と

している。

ホール業界が信用保証協会の保証の対象、政府系金融機関の支援の対象となったのは、規則改正を機に射幸性を抑制して健全化に向けて努力する業界に対し、公的に経営支援をするに足る産業であるとの担当省庁の理解が得られた結果である、との認識を示したのである。

4

改正規則の 経過措置期間の延長

講話では、感染症拡大に伴う出来事というテーマの二番目として、規則改正による旧規則機撤去期間の延長を挙げている。

先月号の拙稿で触れたところであるが、5月20日の国家公安委員会規則の改正により、旧規則機の撤去に関する経過措置期間が1年延長された。この改正は、感染症拡大の影響で新規規則機への入替が困難となった事情への配慮と入替作業等による感染拡大の防止という目的によるが、「この改正前には、貴協会（『日遊協』）を含めた業界を代表する6団体から要望があり」、「検討の過程では、業界団体の幹部の皆様と議論させていただきました」と業界側の要

ホール経営者は、

このような

警察庁の業界に対するフェアな姿勢、

業界の健全化に対する認識

及び業界団体に対する信頼が、

業界団体の幹部個人への

人格的評価ではなく、

そのリーダーシップの下での

個々のホール業者の健全化に向けた取組みの集積によって

もたらされているものであることを自覚する必要がある。

そのうえで、身近なところでは、

21世紀会の決議した旧規則機の撤去目標について、

他人事とすることなく、

主体的に実現に向けた努力を重ね、

結果を示すことにより、

信頼を維持しなければならないのである。

望を容れ、意見をすり合わせた結果であることに加え、「今回の改正は、いわば、業界団体による旧規則機撤去の取組に対する信頼をベースに行った」ことを明らかにしている。

また、「社会一般の視点から、射幸性の抑制という命題が後退したと受け止められてはいけません」、「経過措置期間満了間際になって撤去が集中する等の事態は避ける必要があります」として、21世紀会が規則改正に合わせて旧規則機の撤去の数値目標を決議したことに關して、「業界において、旧規則機の設置台数を計画的に着実に減少させるために有効な方策が確実に実施されることを強く期待しています」と念を押している。

規則改正による旧規則機の撤去期間延長は、計画的かつ段階的な旧規則機撤去の目標を掲げた業界団体の取組みに対する信頼を基礎にして、その要望を受け容れたものである。

5 休業要請について

講話では、感染症拡大に伴う出来事というテーマの三番目として、各都道府県知事からの休業要請への対応を挙げている。

すなわち、「休業要請が行われる中で、一部の営業所が営業し、店の前に行列ができたり、多くの客が押し寄せたりしたことが報道等で大きく取り上げられました」としつつ、「他方で、（業界団体及び多くの組合で）幹部が強いリーダーシップを発揮し、休業に向けた説得を粘り強く行」ったり、「複数の企業が、緊急事態宣言や休業要請が出されていない段階から、自発的に臨時休業を始め、そのような動きが貴協会内でも広がった」として、「こうした多くの方々の社会的責任に対する率先的かつ真摯な対応について、改めて敬意を表したい」としているのである。

6

今回の講話から 汲み取れるもの

今回の講話では依存問題という重要なテーマについてもある程度詳細に述べられているが、この点はあえて割愛して講話の内容から汲み取れるものを整理すると、以下の通りとなる。

まず、警察庁は、フェアな姿勢でホール業界に臨んでおり、ネガティブなマスコミの報道に惑わされることもこれに影響された世論におもねることもなく、また、社会的責任を率先して果

たそうという努力に対しては正当な評価を惜しまない、ということである。

次に、警察庁は、ホール業界は射幸性の抑制により健全化（これは、客を依存症に陥らせてまで利益を得るのではなく、気楽に安価に遊技できる環境を提供するということである）が進みつつあると認識している、ということである。

そして、警察庁は、信頼関係が構築できれば、業界団体の真摯で合理的な要望は受け容れる用意があり、そのために議論をすることもやぶさかではない、ということである。

ここで、ホール経営者は、このような警察庁の業界に対するフェアな姿勢、業界の健全化に対する認識及び業界団体に対する信頼が、業界団体の幹部個人への人格的評価ではなく、そのリーダーシップの下での個々のホール業者の健全化に向けた取組みの集積によってもたらされているものであることを自覚する必要がある。

そのうえで、身近なところでは、21世紀会の決議した旧規則機の撤去目標について、他人事とすることなく、主体的に実現に向けた努力を重ね、結果を示すことにより、信頼を維持しなければならないのである。

遊技機・計数機に対する 日々の点検確認を！

機構検査部が2020年度第1四半期（4月～6月）に行なった立入検査活動の結果報告をお知らせする。

なお、本年5月で終了した「遊技機性能調査」については、本結果から除外しているので、この点は予めご了承ください。

別表の通り、2020年の4月から6月までの3か月間に機構検査部としては、15都府県方面の254店舗（うち計数機検査は41店舗）にお伺いし、ぱちんこ遊技機828台、回胴式遊技機842台の合計1670台の遊技機を検査した。計数機の検査台数は玉計数機40台、メダル計数機1台の合計

41台であった。

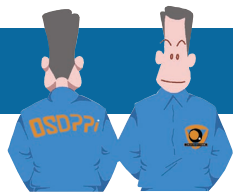
本年度第1四半期の立入検査においても立入拒否は無く、ホール側の受け入れ対応等もスムーズであった。

今後も当機構が実施する諸施策に対してご理解とご協力をお願いしたい。

本年度第1四半期の結果としては、昨年同期の立入検査店舗数から換算すると約64%の減となった。この理由は新型コロナウイルス感染症問題に対処する必要があったことから、4月と5月の立入検査をほぼ中止しており、本年度の立入検査の開始は、実質的に6月に入ってからとなったことによるも

検査ホール数及び検査台数（2020年4月1日～6月30日）

NO	都府県方面名	検査ホール数			検査台数				合計
					遊 技 機		計 数 機		
		遊 技 機	計 数 機	計	ぱちんこ	回胴式	玉	メダル	
1	札幌方面	34	6	40	142	126	6	—	274
2	旭川方面	—	5	5	—	—	5	—	5
3	釧路方面	—	10	10	—	—	10	—	10
4	茨城県	9	—	9	32	40	—	—	72
5	栃木県	11	—	11	58	30	—	—	88
6	群馬県	10	—	10	36	44	—	—	80
7	埼玉県	54	6	60	204	204	6	—	414
8	神奈川県	71	10	81	262	300	9	1	572
9	長野県	13	—	13	46	58	—	—	104
10	三重県	3	—	3	12	12	—	—	24
11	京都府	1	—	1	4	4	—	—	8
12	奈良県	4	—	4	20	12	—	—	32
13	和歌山県	3	—	3	12	12	—	—	24
14	香川県	—	1	1	—	—	1	—	1
15	沖縄県	—	3	3	—	—	3	—	3
合 計		213	41	254	828	842	40	1	1,711



のである。

また、6月から通常の検査体制により全国の誓約書提出ホールに
対して随時・無通知による立入検査を実施しているが、検査員は移動中の手洗いやうがいはもちろん、検査中はマスクや手袋等を着用してホール内で作業を行なっている。

各ホールにおかれては、これら当機構の対応策についてもご理解等を頂き、立入検査へのご協力をお願いしたい。

検査の結果

検査の結果については、第1四半期の検査においても遊技機検査で異常な事案が確認されている。なお、計数機検査においては、近年、異常計数はかなり減少しており、本年度第1四半期も同様の傾向となっている。ホールにおいてはこの傾向が続くよう、点検等を

お願いしたい。

次に機構に対して誓約書を提出されているパチンコホールは、6月末時点で9404店舗であった。本年3月末時点においては、誓約書提出ホールが9585店舗あったことから、この3か月間に181店舗が減少したことになる。

また、既に廃業されているにも関わらず、機構宛に連絡の無い店舗は誓約書提出店舗としてカウントされていることから、実際に営業されている店舗数は、その廃業店舗数分を割り引く必要があることを付け加える。

検査で気づいたことをお伝えする

次に実際に遊技機検査を行なった結果についてその概略をお知らせする。

今回は新型コロナウイルス感染症問題により検査店舗数等がかなり少なかったこともあり、確認された異常事案件数は、遊技機検査で1件のみであった。

異常事案の内容としては、中継基板的な箇所ケース封印バンドの欠損であり、整備不良に近い事案であった。

傾向としては、ここ数年、計数機検査と同様、異常事案の件数自体が減少しており、悪くない状況であると考えている。

異常事案ゼロを目指して、是非、ホールの現場においても目視で確認できる事案などを、日々の点検確認等でつぶして頂きたいと思っている。

あわせて、検査を行なった都府県方面別の検査ホール数、検査台数等は別表の通りであるので、参考として頂きたい。



店長に求められる知識

計 数 管 理 VI

パチンコ店舗管理者実務能力検定試験

通称・P能検。エンタテインメントビジネス総合研究所が2005年から実施。対象の中心はホール店長やその候補者。筆記試験は7科目（一般常識・業界知識・法律知識・不正排除・計数管理・機械整備・設定管理・顧客サービス・経営マネジメント・マーケティング・労務管理）で構成されており、全100問が出題される。

割数（パチンコ）

パチンコ店という商売を見たときに、店長の立場において「数字は苦手」では通用しません。店舗を任される立場であれば、店舗の儲けを適正に管理する責任があります。他業種とは売上や原価の概念が異なり、日々莫大な金額が動くパチンコ店特有の利益管理の仕組みこそが計数管理です。

今回は、シミュレーションに関する問題を取り上げます。シミュレーション(simulation)とは、日本語で「模擬実験」と訳され、パチンコ店では実際に営業する際の利益を事前に計算するために使用されます。綿密なシミュレーションを怠れば利益管理そのものがどんな放り勘定となり、お客様に無駄な放出や過剰な負担を掛けることとなります。ここからは問題を解きながら、学んでいきましょう。

【問題】

アウト玉数100個当たりの
スタート回転数6・2回、ベ

イス20%、TS359・6、
TY5510個、客滞留率16
0%のときの割数として正しいものはどれか。
(小数点第2位を四捨五入とする)

【選択肢】

a : 10・0割
b : 11・0割
c : 12・0割
d : 13・0割

【解答分布】

a : 6・9% b : 28・8%
c : 45・5% d : 18・8%

【正解と解説】

正解はdです。(次ページ左上)

遊技機の粗利シミュレーションの仕組みを網羅した問題です。粗利を計算するには売上と割数を求める必要がありますが、この手順に沿って計算すれば電卓ひとつで割数を求めることができます。新機種が登場する際、遊技機メーカーからのスペックに関する情報が不足していることも珍しくありません。そのような場合でも、この手

順を理解しておけば、導入における検討材料も増えることでしょう。

割数を求めるには、スタート、BY、TY、TS、客滞率と5つの計数項目を使用します。以下にそれぞれの留意点をまとめました。

● **スタート**

1分間当たりのスタート回転数

のことで

● **BY**

通常時（アウト玉数100個当たり）における有効スタートの賞球以外に発生する賞球のことです。

● **TY**

特賞中（確変・時短中を含む）の獲得玉を表します。TYは、TY（大当たり1回の獲得出玉）、

問題文より、まずはBOとB%からBサを求めます。

$$BO = TS \div \text{アウト玉数} 100 \text{個当たりのスタート回転数} \times 100 \text{より、}$$

$$= 359.6 \div 6.2 \times 100 = 5,800$$

$$B\% = 100 - \text{ベースより、}$$

$$= 100 - 20.0 = 80.0\%$$

$$Bサ = BO \times B\% \text{より、}$$

$$= 5,800 \times 80.0\% = 4,640 \quad \text{と求めることができます。}$$

次に、客滞率より売上玉を求めます。

客滞率 = $Bサ \div \text{売上玉} \times 100$ より、
 売上玉 = $Bサ \div \text{客滞率}$
 $= 4,640 \div 160\% = 2,900$ (個) と求めることができます。

Bサとは通常時の差玉（特賞間差玉）であるため、売上玉遊技分と持玉遊技分に分かります。
 よって、Bサより売上玉を引いた分が持玉遊技玉となります。
 持玉遊技玉 = $Bサ - \text{売上玉}$
 $= 4,640 - 2,900 = 1,740$ (個)

よって、TYより持玉遊技玉を引いた分が景品玉となります。
 景品玉 = $TY - \text{持玉遊技玉} = 5,510 - 1,740 = 3,770$ (個)

景品割数 = $\text{景品玉} \div \text{売上玉} \times 10$ なので、
 $= 3,770 \div 2,900 \times 10$
 $= 13.0$ 割 と求めることができます。

BA（確変・時短中のベース）、確変継続率などから計算して求めることが可能です。しかし、計算過程が非常に複雑なため、過去の実績データより定数として使用するのが一般的です。

● **TS**

特賞までに想定されるスタート回転数を表します。TSは機種のスペックと設定により定められているため、メーカー発表値をそのまま使用します。

● **客滞率**

客滞率とは、売上玉遊技に対するBサの比率を表した数値です。客滞率は様々な条件によって変動します。TSやスタートが同じであっても客滞率が違えば割数も変動するため、的確に予測する必要があります。

割数（パチスロ）

【問題】

次のパチスロ設定表において、設定4の割数として正しいものはどれか。遊技料金は1枚

20円とする。

（小数点第3位を四捨五入とする）

設定	出玉率	コイン単価	アウト	配分
1	97.4%	2.84	8,500	1台
2	98.5%	2.69	9,000	
3	100.0%	2.40	10,200	2台
4	101.4%	2.22	11,000	2台
5	104.5%	2.01	12,000	
6	112.0%	1.64	14,500	

【選択肢】

a : 8 : 74 割
 b : 10 : 14 割
 c : 11 : 26 割
 d : 11 : 40 割

【解答分布】

a : 2 : 7 %
 b : 61 : 0 %
 c : 28 : 5 %
 d : 7 : 8 %

【正解と解説】

正解はcです。（次ページ右上）

【問題】

割数②（パチンコ）

こちらは、パチスロの割数を求める問題です。パチスロの割数は、アウトと設定毎の出玉率、コイン単価の3つの計数項目から求めることができます。数多くの計数項目を使用するパチンコと比較して、非常にシンプルなのが特徴です。

最初に、台売上から売上メダルを求めます。

コイン単価=売上÷アウトより、

台売上：11,000枚×2.22円=24,420円

売上メダル：24,420円÷20円=1,221枚

と求めることができます。

あとは景品メダルが分かれば割数を求めることができますが、問題文からは景品メダルを求めることはできません。

よって、差メダルより機械割数を求める必要があります。

問題文より、

セーフ：11,000枚×101.4%=11,154枚

差メダル：11,000枚－11,154枚＝－154枚

と求めることができます。

よって機械割数は、

機械割数

＝(売上メダル－(差メダル))÷売上メダル×10 より、

＝(1,221枚－(－154枚))÷1,221枚×10＝11.26割と求めることができます。

【選択肢】

b : 9・68割
a : 9・24割

アウトが1万500個、BOが3000個、ベースが30%、TYが2000個、TOが1200個、玉単価が1・25円のと、割数の値として正しいものはどれか。遊技料金は1個4円とする。
(小数点第3位を四捨五入とする)

まずは売上玉を求めます。
10,500個×1.25円÷4円＝3,281個

続いて、特賞回数を求めます。
特賞回数は、アウト÷(BO+TO)で求めることができます。

10,500個÷(3,000個+1,200個)＝2.5回

続いて、通常時と特賞中に分けてセーフを求めます。

通常時のセーフ：BO×ベース＝3,000×30%＝900個

特賞中のセーフ：TY+TO＝2,000+1,200＝3,200個

よってセーフ(合計)は、
(900+3,200)×2.5回＝10,250個と求めることができます。

あとは、機械割数の公式に当てはめましょう。

割数
＝(3,281－(10,500－10,250))÷3,281×10
＝3,031÷3,281×10
＝9.24割

【解答分布】

a : 19・7%
c : 34・8%
b : 32・1%
d : 13・4%

d : 12・50割
c : 9・89割

【正解と解説】
正解はaです。(左記)

こちらは、アウトと売上(玉単価)から割数を求める問題です。通常時と特賞のセットは一般的にワンサイクルアウトと言われ、BO+TOで表されます。全体の総

アウトをワンサイクルアウトで割ること、特賞回数を求めることができます。

日々の営業は、シミュレーションと結果の検証の繰り返しです。日や週単位の結果では、シミュレーションの想定通りに行かないことも多いものです。しかし、計画値と実績値を比較し、結果に対する原因追求を続けていけば必ずシミュレーションの精度は上がっていくことでしょう。シミュレーションを有効活用して、自店の計数管理に役立たせてください。

上野パチンコ村の医療の要 永寿総合病院を業界が支援

東日本遊技機商業協同組合は新型コロナウイルス感染症拡大防止の支援事業として、東京都台東区の「永寿総合病院」の運営団体である公益財団法人ライフ・エクステンション研究所に寄付金200万円と不織布マスク2万枚を寄贈。8月4日、中村昌勇理事長が同病院院長兼同財団代表の湯浅祐二氏に目録を手渡した。

永寿総合病院は台東区東上野地区のパチンコ業界関連企業の本社・支社などが数多く集まる通称「上野パチンコ村」にあるが、この春以降、新型コロナウイルス感染によって院内感染者数



東遊商の中村理事長（左）と永寿病院院長兼同財団代表の湯浅祐二氏

が2000人を超える大変な事態に陥っている。一方、東遊商は創設

以来、東上野地区に本部を設置。組合員も285社のうち118社が同地区に事務所を構え、多くの組合員らが同病院を利用してきた。

そこで4月に不織布マスクを1万枚寄贈していたが、このたび同病院からの追加支援要請に応え、寄付金贈呈と不織布マスクの追加寄贈を決定。東遊商では「同病院の復興は私ども組合にとっても大変意義あること。一日も早い新型コロナウイルス感染拡大

の終息を願う」とコメントしている。

ユーコーも

鳥栖市にマスク寄贈

なお、九州でもホール企業のユーコー（本社・福岡県久留米市）が佐賀県鳥栖市にマスク1万枚を寄贈。金海基康社長ら3人が7月20日に鳥栖市役所を訪れ、橋本康志市長に目録を手渡した。

今回の寄贈は同市が「Twitter」でマスクを募っていることを知った同社・ユーコーラッキー鳥栖郊外店のマネ

編集後記

孫をつれて息子夫婦とうなぎ店に行った。検温され、連絡先を書いたの入店だった。1歳半の孫は、子供用茶碗に鰻重を分けてもらおうと、こんな美味いものがあるのかといった顔をして、バスバクと食べた。

30年以上も前、3歳になった息子と2人でこの店にきたのを思い出した。分けて食べさせた鰻重に息子は夢中にな

り、肝吸いの碗をひっくり返してしまった。店員や親切なお客さんがかけつけ、タオルで息子のシャツを拭いて助けてくれたのだった。

店の構えはすっかり変わり、うなぎの値段も高騰してしまったが、30年なんてあつという間だったな、と感慨を

新たにした。

十年ほど前、里帰りのついでに子供たちを連れて遊園地に行った。下の娘が小学生の時だった。下の子供向けのアトラクションがあつたので三人で入場した。淡い色のお城の中にファンタジーな人形などが飾られていたと思うが、かわいい...と思うより、すごく不気味な感じがした。息子も娘も何かを感じ

お化け屋敷

陽が暮れる前、最後に「おとぎの城」という子供向けのアトラクションがあつたので三人で入場した。淡い色のお城の中にファンタジーな人形などが飾られていたと思うが、かわいい...と思うより、すごく不気味な感じがした。息子も娘も何かを感じ

とつたのか、「怖いから早く帰ろう」と言い出して、これ幸いと出口に向かった。あの気味の悪いアトラクションは今どうなっているのか? と思い、先日、ネットで検索したら、なんとお化け屋

敷になっていた。そっちの方がビッカリだと思ふよ:

(H)

将棋の藤井聡太七段が7月16日、棋聖位を獲得した。17歳11か月。タイトル獲得最年少記録を30年ぶりに更新したとして、ワイドショーでは目ごろ将棋に興味がないようなコメントターまで藤井新棋聖を絶賛している。

だが、元将棋小僧で、いまもNHK杯戦の中継を楽しみにしている自分は何となくうれしくない。よくよく考えてみると、若さに嫉妬する自分がいることに気づく。老醜。どんなに若くても、すごい人はすごいと認める潔い年寄りになりたいものです。

嫉妬

(N)



ユーコーの金海社長（左）と鳥栖市の橋本市長

おかしいと思ったら すぐここへ <https://www.suishinkikou.or.jp/>

不正排除に 全力

遊技機も 計数機も



第三者機関
遊技産業健全化推進機構

Organization for
the Sound Development of
the Pachinko & Pachislot Industry

遊技産業健全化推進機構広報誌 令和2年9月1日(毎月1日発行)第159号
監修 遊技産業健全化推進機構 編集室

一般社団法人 遊技産業健全化推進機構

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-1 山基ビル6F
TEL 03-3518-2062 FAX 03-3518-2063